



市民の声を市政に反映

# 杉森ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行  
**744号** 2018年1月29日  
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8  
 TEL・Fax : 870-0335  
 携帯 : 090-5587-7693  
 Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

## 牛久シャトーの事業撤退対策

# 協力関係の強化

### 第4回定例会一般質問 ②-B

杉森議員は12月11日、牛久市議会第4回定例会で、①市長公約の進捗状況、②牛久シャトーの事業撤退対策、③駅前のムクドリ、④東海第2原発の再稼働の危険性について、一般質問しました。今号では②のBを掲載します。

## 信義が第一

【杉森議員の質問】次に、協力関係について、財政面・運営面・事業面での協力を、可能な範囲で積極的に取り組むこととなりますが、具体的には今後の話し合いの中で詰めていくことになると思います。

協力関係の強化でも、基本は信義が第一になると思います。一方的にどちらかだけが負



担するとか、負担の押しつけ合いではなく、市長が言うWin-Winの関係を、長期に築くための協力の在り方について、市としての基本的な考え方を質問いたします。

## 観光面・商工面で協力

【環境経済部長の答弁】報牛久シャトーとの事業の連携については、これまでさまざまなかたちで行ってきました。

以前は、牛久シャトーの敷地内でシャトー以外の店舗が物販をすることは認められておりませんでした。2016年5月に修復工事が完了し、同年7月から一般公開されて以降は、牛久市や牛久シャトーも加盟しているぶどう園通り商店会からの働きかけにより、シャトー敷地内での商店会加盟店舗の物販ができるようになりました。これにより、「牛久シャトーフェスタ」や「牛久シャトーワインまつり」などで、市内商店が牛久シャトーと連携協力してイベントを盛り上げ、多くの集客を得られたことは記憶に新しいところです。また、本年3月に行われました牛久市商工会青年部主催の「うしくピザフェスタ」についても、牛久シャトーを第一会場、牛久市役所となりの近隣公園を第二会場として開催するなど、観光面だけでなく、商工振興の面で

## 東海第2原発20年運転延長の危険 事故が起きたら 避難できるの？



原子炉の構造などの科学的分野から、原発事故の歴史、各地の原発裁判、除染・がれき処理など、幅広い分野で活躍中の方です。

講師：山崎 久隆 氏

日時：2月10日(日)午後2時開演  
 会場：牛久市生涯学習センター大講座室  
 主催：原発いらない牛久の会  
 資料代：300円

# 特養待機者36.6万人だが

厚生労働省が2017年3月に発表したところによると、特別養護老人ホーム(特養)の入居を希望しながらも施設に入ることができなかった、「待機者」は、約36.6万人と非常に多くなっています。前回調査は2013年10月、52万人と膨大な数でした。16万人近く減った理由として、基本的に「要介

護度2」以下の高齢者が原則として特養には入居できなくなったことが大きいとされます。特養の入居要件が厳格化したものの、それでも36.6万人もの待機者が出ています。

## 26%の施設で空室・空床

みずほ情報総合研究所の調査によると、全体の1/4にあたる26%もの施設で空室があるのが現状。2016年11月の時点で26%に空床があるとのこと。ただし、2016年4月1日時点の施設利用率は96%を超え、そのため一時的にベッドに空きがある施設や、入院してしまい入所者のためにベッドを空けている施設なども含まれています。

## 新施設に空室・空床多い

26%の施設で空室・空床開設年度別に空き状況を確認してみても比較的新しい施設に関して、空き状況が大きいということがわかります。最近開設した施設に空きが多く見られ、新規施設で顧客の獲得に悩んでいる様子です。

## 職員不足が最大原因

同調査によると、空床が生まれている原因として「職員の採用が困難」が30.1%となっており、同時に「職員の離職が多いため」も20.3%となりました。

## 労働条件の悪さが背景に

採用が困難である理由として、やはり一番に挙げられるのが「賃金が低い」で57.4%、「仕事がきつい」が48.3%、「社会的評価が低い」が40.8%と、介護の仕事が魅力的ではないと捉えられていることがデータから見えてきました。

ほかにもとくに、特養および特養以外の施設の多さが問題点として挙げられるでしょう。施設が過剰供給気味で、空きが出てしまっているのが現状なのです。

「みんなの介護ニュース」2017/05/03より

も様々な取り組みにより改善されてきました。

さらには、うしくグリーンファーム株式会社が生産した小麦、ゆめかおりで醸造したクラフトビール、「牛久ホワイト」は、国際的なビールの審査会で金賞を受賞しており、人気が高い商品です。このように、牛久市と牛久シャトーとは良好な関係を築いてきたと認識しています。

## あらゆる手段と方策で

事業継続の要望が受け入れられた場合は、より強固な協力体制を構築していくことが重要であると考えていますので、今後、あらゆる手段と方策を排除せず検討して参ります。

## 固定資産税減免の範囲は

【杉森議員の質問】牛久シャトーが重要文化財になり、固定資産税が減免されているとのことですが、それはどの範囲でしょうか。

【環境経済部長の答弁】ぶどう園通りからシャトーの建物があり、その奥の記念館までが減免の範囲です。駐車場やガーデン、お土産屋さんとは別の話です。

## 事業は直営でした

【杉森議員の質問】これまでの説明の中で、オエノグループは、飲食業などを中核事業ではないといわれていましたが、牛久シャトーでは、どのような形態で飲食業、物品販売業が行われていたのでしょうか。(直営か)

【環境経済部長の答弁】すべて直営です。